

★秋山仁東京理科大学教授のドミニカ共和国訪問★

主要大学での数学レクデモと数学博物館のオープン！！



2017年11月24日～30日、秋山仁東京理科大学教授がドミニカ共和国を訪問しました。秋山教授は、カトリカ・マドレ・マエストラ大学（PUCMM）、サントドミンゴ工科大学（INTEC）、ペドロ・エンリケ・ウレーニャ大学（UNPHU）、イベロアメリカ大学（UNIBE）の計4大学にて、複数の教具を用いた数学レクチャー&デモンストレーションを行いました。どの会場も満員で、初めて見る数学の公理等を具体的なモノを通じて理解する方法に驚くなど、入りきれない人や立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。

11月29日には旧市街の通信文化センター（Centro Cultural de las Telecomunicaciones）にて、アレハンドリーナ・ヘルマン高等教育大臣他政府及び大学関係者出席の下、同教授が寄贈した計50個の教具が展示される数学博物館の開所式が行われました。秋山教授はスピーチにて、「数学はサイエンスとテクノロジーの基礎です。今回寄贈した50個の教具を通じて、より多くのドミニカ（共）人が数学の面白さと有用性を知り、楽しく数学を学んでくれることを心より願っています」と述べました。

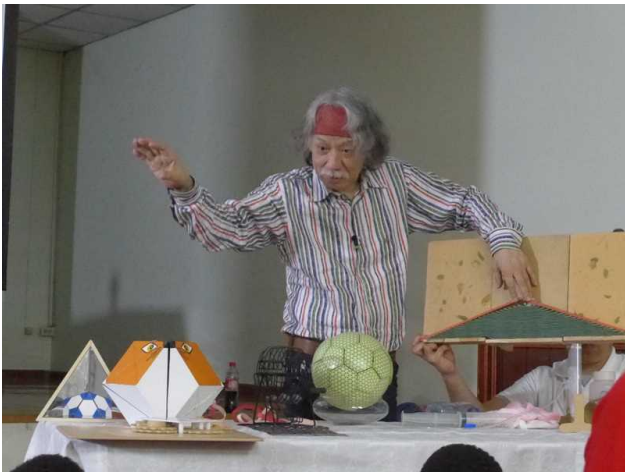
また、サントドミンゴ自治大学（UASD）から秋山教授に対し、数学界及び数学教育への功績を讃え、名誉博士号が授与された他、同様の理由により、サンティアゴ市議会議長、ペドロ・エンリケ・ウレーニャ大学（UNPHU）及びイベロアメリカ大学（UNIBE）からも表彰状が授与されました。



数学レクデモの様子①



数学レクデモの様子②



数学レクデモの様子③



数学レクデモの様子④



数学レクデモの様子⑤



サンティアゴ市による表彰



数学博物館開所式



ヘルマン高等教育大臣のスピーチ



開所式のテープカット



テレビ番組「Uno+Uno」出演



名誉博士号授与式



授与式でのスピーチ